

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2028年6月13日まで（2013年6月28日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型） 為替ヘッジあり	USエネルギーMLPファンド 受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	USエネルギーMLPファンド	主にエネルギーや天然資源に関連するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等を主要投資対象とします。 ・外貨建（米ドル建）資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 	
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）原則として安定した分配を継続することを目指しますが、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。基準価額水準や分配対象収益を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配を行うことがあります。	

運用報告書（全体版）

米国エネルギーMLPオープン
（毎月決算型）為替ヘッジあり

愛称：エネルギー・ラッシュ



第130期（決算日：2024年5月13日）
 第131期（決算日：2024年6月13日）
 第132期（決算日：2024年7月16日）
 第133期（決算日：2024年8月13日）
 第134期（決算日：2024年9月13日）
 第135期（決算日：2024年10月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり」は、去る10月15日に第135期の決算を行いましたので、法令に基づいて第130期～第135期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

◎運用のポイント

当期間については、金融緩和への期待感が追い風となる一方、景気減速や地政学リスクの高まりを背景に、クオリティ重視のポートフォリオを維持しました。ポートフォリオでは、個別企業の事業ファンダメンタルの変化に基づいた売買を実施しました。具体的には、プロジェクトの遅延の影響で業績が悪化した銘柄の全売却を実施しました。一方で、相対的に業績が安定している銘柄の組入比率を引き上げました。

◎投資環境と今後の運用方針

2024年9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で利下げ実施が決定され、米国は新たな金融緩和サイクルに入りました。今後、日本を除く世界の金融政策は緩和方向にシフトしてゆくと見られています。また、世界経済のもう一つのエンジンである中国においても、当局による景気刺激策が打ち出され、この内容が期待以上であったことから中国株式市場が急上昇する動

きとなっています。こうした動きは、世界経済の腰折れリスクを減じ得る点でプラス材料であると見ています。一方で、イスラエルとイランを巡る中東情勢の緊迫化は、注視が必要であると考えます。限定的な軍事衝突にとどまれば大きな混乱は生じないといえますが、中東地域における戦火の拡大は原油価格上昇に繋がり、今後の世界経済と株式市場にとって波乱要因になる可能性があります。4年に一度の米国大統領選挙の年は、往々にして選挙前に株式市場の変動性が高まる傾向がありますが、今回は特に結果が見通し難く、企業活動においても「様子見」「投資の先送り」といった影響が出ている状況が見て取れます。このような環境の中、エネルギー中流企業各社の財務状況は過去と比べると大きく改善しており、エネルギー中流企業の投資魅力は相対的に高まっていると考えます。当面は変動性が高い市場環境が継続する見通しですが、引き続き、積極的な投資姿勢を維持する方針です。



ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー
プライベート・アセット・マネジメント・グループ
ラクリン・グループ
マネージング・ディレクター
ダグラス A. ラクリン



マネージング・ディレクター
パオロ R. フラットロリ

上記は、ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分 配	み 期 騰 落	中 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円	
106期(2022年5月13日)	3,924	10	△ 6.5	—	—	97.5	2,468	
107期(2022年6月13日)	4,148	10	6.0	—	—	98.3	2,610	
108期(2022年7月13日)	3,749	10	△ 9.4	—	—	99.0	2,345	
109期(2022年8月15日)	4,205	10	12.4	—	—	97.3	2,589	
110期(2022年9月13日)	4,216	10	0.5	—	—	97.6	2,586	
111期(2022年10月13日)	3,650	10	△13.2	—	—	99.4	2,224	
112期(2022年11月14日)	4,010	10	10.1	—	—	93.3	2,408	
113期(2022年12月13日)	3,912	10	△ 2.2	—	—	99.4	2,323	
114期(2023年1月13日)	3,952	10	1.3	—	—	95.3	2,362	
115期(2023年2月13日)	3,813	10	△ 3.3	—	—	97.9	2,305	
116期(2023年3月13日)	3,592	10	△ 5.5	—	—	95.8	2,134	
117期(2023年4月13日)	3,711	10	3.6	—	—	97.9	2,165	
118期(2023年5月15日)	3,596	10	△ 2.8	—	—	99.6	2,084	
119期(2023年6月13日)	3,578	10	△ 0.2	—	—	98.0	2,018	
120期(2023年7月13日)	3,690	10	3.4	—	—	95.7	2,050	
121期(2023年8月14日)	3,615	10	△ 1.8	—	—	99.2	1,993	
122期(2023年9月13日)	3,575	10	△ 0.8	—	—	99.0	1,935	
123期(2023年10月13日)	3,357	10	△ 5.8	—	—	99.1	1,797	
124期(2023年11月13日)	3,353	10	0.2	—	—	99.0	1,763	
125期(2023年12月13日)	3,430	10	2.6	—	—	98.1	1,761	
126期(2024年1月15日)	3,460	10	1.2	—	—	97.7	1,726	
127期(2024年2月13日)	3,317	10	△ 3.8	—	—	99.5	1,615	
128期(2024年3月13日)	3,503	10	5.9	—	—	99.1	1,638	
129期(2024年4月15日)	3,508	10	0.4	0.0	—	99.1	1,618	
130期(2024年5月13日)	3,672	10	5.0	0.0	—	99.0	1,666	
131期(2024年6月13日)	3,663	10	0.0	0.0	—	98.2	1,616	
132期(2024年7月16日)	3,741	10	2.4	0.0	—	96.3	1,640	
133期(2024年8月13日)	3,665	10	△ 1.8	0.0	—	98.3	1,606	
134期(2024年9月13日)	3,758	10	2.8	0.0	—	98.0	1,621	
135期(2024年10月15日)	3,981	10	6.2	0.0	—	98.2	1,684	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第130期	(期 首) 2024年4月15日	円 3,508	% -	% -	% 0.0	% -	% 99.1
	4月末	3,567	1.7	0.0	-	98.9	
	(期 末) 2024年5月13日	3,682	5.0	0.0	-	99.0	
第131期	(期 首) 2024年5月13日	3,672	-	0.0	-	99.0	
	5月末	3,642	△0.8	0.0	-	97.6	
	(期 末) 2024年6月13日	3,673	0.0	0.0	-	98.2	
第132期	(期 首) 2024年6月13日	3,663	-	0.0	-	98.2	
	6月末	3,693	0.8	0.0	-	98.9	
	(期 末) 2024年7月16日	3,751	2.4	0.0	-	96.3	
第133期	(期 首) 2024年7月16日	3,741	-	0.0	-	96.3	
	7月末	3,724	△0.5	0.1	-	97.5	
	(期 末) 2024年8月13日	3,675	△1.8	0.0	-	98.3	
第134期	(期 首) 2024年8月13日	3,665	-	0.0	-	98.3	
	8月末	3,804	3.8	0.0	-	98.9	
	(期 末) 2024年9月13日	3,768	2.8	0.0	-	98.0	
第135期	(期 首) 2024年9月13日	3,758	-	0.0	-	98.0	
	9月末	3,851	2.5	0.0	-	96.8	
	(期 末) 2024年10月15日	3,991	6.2	0.0	-	98.2	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

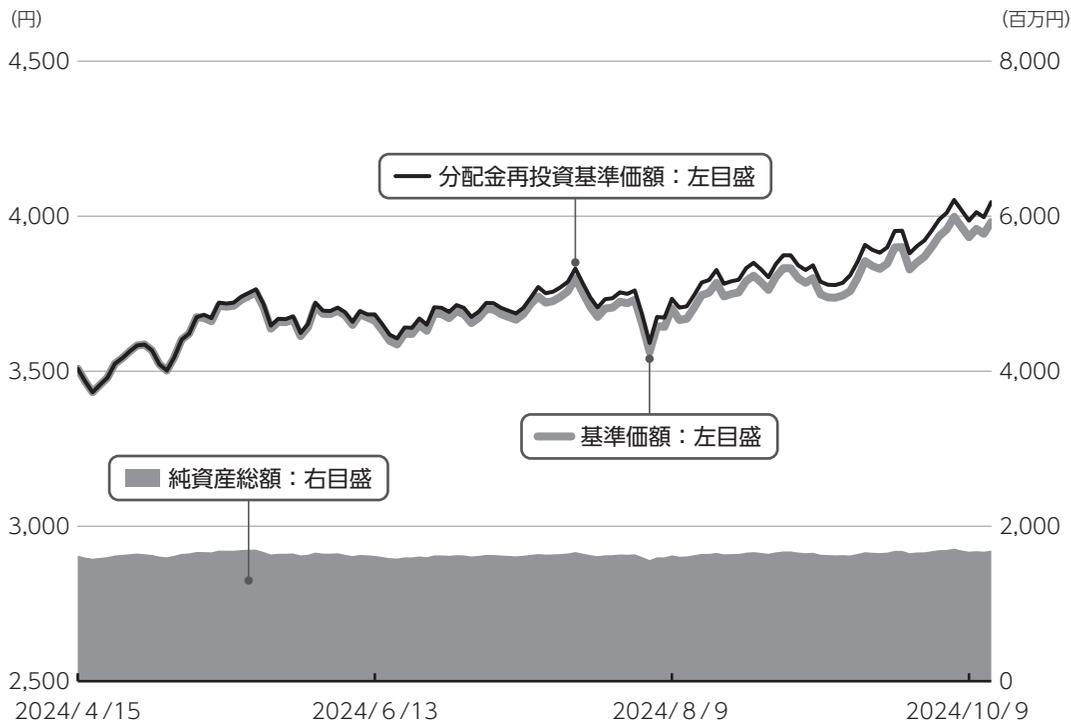
(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

運用経過

第130期～第135期：2024年4月16日～2024年10月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第130期首	3,508円
第135期末	3,981円
既払分配金	60円
騰落率	15.3%

（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ15.3%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

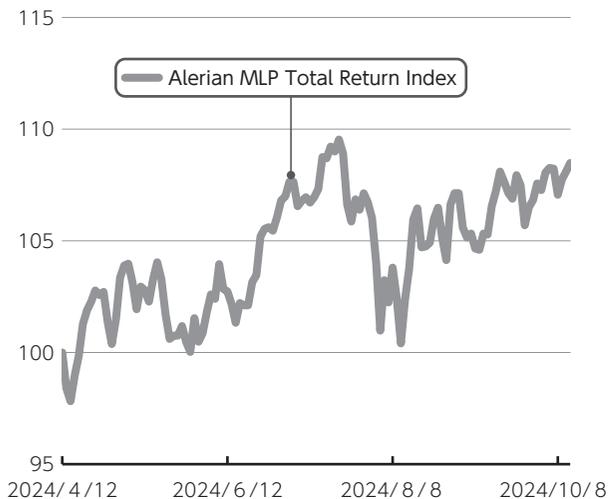
上昇要因

個別銘柄（TARGA RESOURCES CORPなど）の株価が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

第130期～第135期：2024年4月16日～2024年10月15日

投資環境について

MLP市況の推移（当作成期首を100として指数化）



▶ MLP市況 期間を通してみると、MLP市況は上昇しました。

期間中での中東情勢の悪化から原油供給をめぐる懸念が高まったことや、トランプ氏が米大統領へ再選した際の石油・天然ガス投資や採掘活動の拡大への期待などを受け、MLP市況は上昇しました。

（注）「Alerian MLP Total Return Index」は、Alerianの登録商標であり、Alerianからの使用許諾に基づき使用しています。

（注）現地日付ベースで記載しております。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり

米ドル建の外国投資信託であるUSエネルギーMLPファンド受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

外貨建（米ドル建）資産については対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

▶ USエネルギーMLPファンド

主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等に投資を行いました。

ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行いました。

MLP等の組入比率は、高位を維持しました。

個別証券の投資割合は、純資産総額の10%以内としました。

個別証券の期間中売買では、NEXTERA ENERGY PARTNERS LP（再生エネルギー系発電事業者）や HESS MIDSTREAM LP - CLASS A（石油・ガス貯蔵・輸送）などの投資比率を引き下げた一方、DT MIDSTREAM INC（石油・ガス貯蔵・輸送）やBROOKFIELD RENEWABLE COR-A（再生エネルギー系発電事業者）などの投資比率を引き上げました。

▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、分配金額を決定します。原則として安定した分配を継続することを目指しますが、基準価額水準や分配対象収益を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配を行うことがあります。この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第130期 2024年4月16日～ 2024年5月13日	第131期 2024年5月14日～ 2024年6月13日	第132期 2024年6月14日～ 2024年7月16日	第133期 2024年7月17日～ 2024年8月13日	第134期 2024年8月14日～ 2024年9月13日	第135期 2024年9月14日～ 2024年10月15日
当期分配金 （対基準価額比率）	10 (0.272%)	10 (0.272%)	10 (0.267%)	10 (0.272%)	10 (0.265%)	10 (0.251%)
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,229	1,232	1,237	1,238	1,244	1,251

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり

引き続き、米ドル建の外国投資信託であるUSエネルギーMLPファンド受益証券を主要投資対象とします。外貨建（米ドル建）資産については原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ USエネルギーMLPファンド

引き続き、主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等に投資を行います。ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行う方針です。投資先のキャッシュ・フロー創出力や財務健全性に注意を払った銘柄選択を継続する方針です。

▶ マネー・プール マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は低位安定した推移を想定していません。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2024年4月16日～2024年10月15日

1万口当たりの費用明細

項目	第130期～第135期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	22	0.595	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(7)	(0.193)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(14)	(0.386)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.014	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.008)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	23	0.609	

作成期中の平均基準価額は、3,713円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

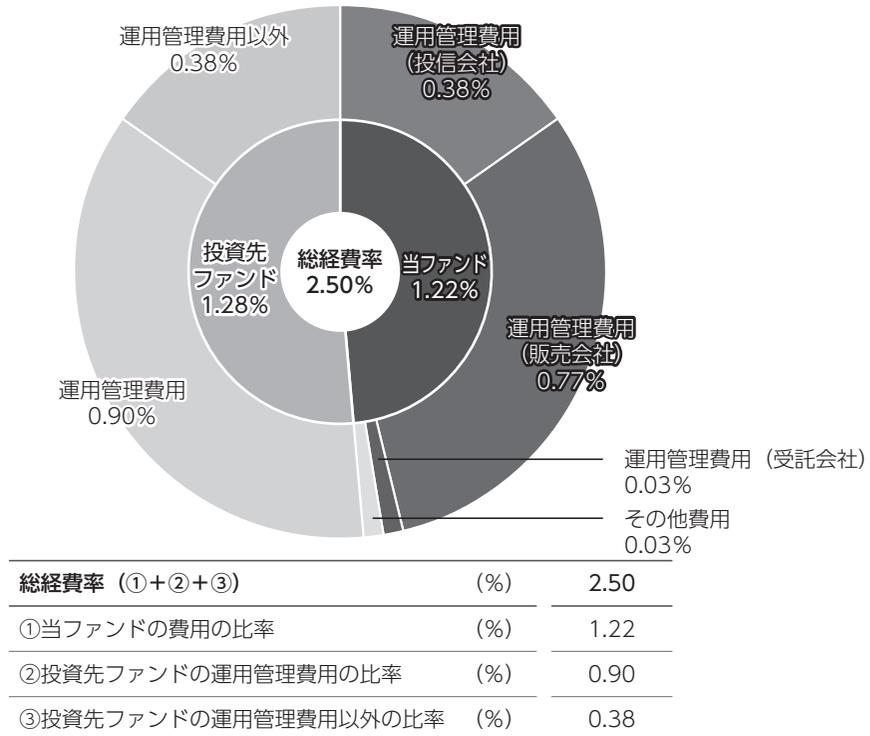
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.50%**です。



(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年4月16日～2024年10月15日)

投資信託証券

銘柄		第130期～第135期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	USエネルギーMLPファンド	697,638	2,523	976,876	3,533

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2024年4月16日～2024年10月15日)

利害関係人との取引状況

<米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり>

区分	第130期～第135期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	19,217	70	0.4	19,212	18	0.1
為替直物取引	334	—	—	516	15	2.9

<マネー・プール マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2024年10月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄		第129期末		第135期末		比率
		口数	口数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		千口	千口	千アメリカドル	千円	%
	USエネルギーMLPファンド	3,107,832	2,828,594	11,059	1,655,320	98.2
	合計	3,107,832	2,828,594	11,059	1,655,320	98.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジありの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄	柄	第129期末	第135期末	
		口数	口数	評価額
マネー・プール	マザーファンド	千口 996	千口 996	千円 1,000

○投資信託財産の構成

(2024年10月15日現在)

項目	第135期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 1,655,320	% 94.0
マネー・プール マザーファンド	1,000	0.1
コール・ローン等、その他	104,769	5.9
投資信託財産総額	1,761,089	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産（1,691,915千円）の投資信託財産総額（1,761,089千円）に対する比率は96.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=149.67円		
-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第130期末	第131期末	第132期末	第133期末	第134期末	第135期末
	2024年5月13日現在	2024年6月13日現在	2024年7月16日現在	2024年8月13日現在	2024年9月13日現在	2024年10月15日現在
(A) 資産	円 3,349,287,025	円 3,210,652,115	円 3,245,212,057	円 3,161,214,743	円 3,199,667,587	円 3,339,865,309
コール・ローン等	81,894,733	41,775,730	71,922,058	60,748,931	28,785,104	82,777,082
投資信託受益証券(評価額)	1,649,475,006	1,587,491,951	1,580,359,373	1,579,268,596	1,590,237,559	1,655,320,764
マネー・プール マザーファンド(評価額)	999,900	999,900	1,000,000	1,000,100	1,000,299	1,000,498
未収入金	1,616,917,271	1,580,384,447	1,591,930,502	1,520,196,693	1,579,644,540	1,600,766,568
未収利息	115	87	124	423	85	397
(B) 負債	円 1,683,072,051	円 1,593,769,960	円 1,604,437,943	円 1,554,809,858	円 1,577,722,113	円 1,655,042,094
未払金	1,667,828,438	1,584,506,348	1,595,321,951	1,547,710,530	1,557,859,600	1,642,318,460
未払収益分配金	4,537,305	4,414,490	4,385,563	4,383,197	4,316,430	4,232,644
未払解約金	9,214,356	3,166,510	2,979,298	1,220,287	13,870,126	6,742,109
未払信託報酬	1,478,274	1,667,185	1,735,076	1,482,131	1,660,592	1,732,846
その他未払費用	13,678	15,427	16,055	13,713	15,365	16,035
(C) 純資産総額(A-B)	円 1,666,214,974	円 1,616,882,155	円 1,640,774,114	円 1,606,404,885	円 1,621,945,474	円 1,684,823,215
元本	4,537,305,465	4,414,490,397	4,385,563,796	4,383,197,956	4,316,430,136	4,232,644,358
次期繰越損益金	△2,871,090,491	△2,797,608,242	△2,744,789,682	△2,776,793,071	△2,694,484,662	△2,547,821,143
(D) 受益権総口数	4,537,305,465口	4,414,490,397口	4,385,563,796口	4,383,197,956口	4,316,430,136口	4,232,644,358口
1万口当たり基準価額(C/D)	3.672円	3.663円	3.741円	3.665円	3.758円	3.981円

○損益の状況

項 目	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
	2024年4月16日～ 2024年5月13日	2024年5月14日～ 2024年6月13日	2024年6月14日～ 2024年7月16日	2024年7月17日～ 2024年8月13日	2024年8月14日～ 2024年9月13日	2024年9月14日～ 2024年10月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	6,763,696	7,374,092	6,575,791	6,617,246	7,199,519	7,087,206
受取配当金	6,793,689	7,384,378	6,471,662	6,619,345	7,205,303	7,050,002
受取利息	△ 29,993	△ 10,286	104,129	△ 2,099	△ 5,784	37,204
(B) 有価証券売買損益	73,905,335	△ 5,524,021	34,040,168	△ 34,142,673	38,768,812	93,186,801
売買益	1,717,444,282	1,662,013,381	1,676,304,327	1,770,253,480	1,638,806,823	1,798,033,025
売買損	△1,643,538,947	△1,667,537,402	△1,642,264,159	△1,804,396,153	△1,600,038,011	△1,704,846,224
(C) 信託報酬等	△ 1,493,901	△ 1,686,530	△ 1,777,530	△ 1,563,876	△ 1,704,923	△ 1,763,653
(D) 当期損益金(A+B+C)	79,175,130	163,541	38,838,429	△ 29,089,303	44,263,408	98,510,354
(E) 前期繰越損益金	△ 889,574,609	△ 791,546,680	△ 788,508,003	△ 751,434,789	△ 771,256,949	△ 715,432,493
(F) 追加信託差損益金	△2,056,153,707	△2,001,810,613	△1,990,734,545	△1,991,885,782	△1,963,174,691	△1,926,666,360
(配当等相当額)	(404,194,910)	(393,503,656)	(391,315,094)	(391,547,406)	(385,907,598)	(378,762,048)
(売買損益相当額)	(△2,460,348,617)	(△2,395,314,269)	(△2,382,049,639)	(△2,383,433,188)	(△2,349,082,289)	(△2,305,428,408)
(G) 計(D+E+F)	△2,866,553,186	△2,793,193,752	△2,740,404,119	△2,772,409,874	△2,690,168,232	△2,543,588,499
(H) 収益分配金	△ 4,537,305	△ 4,414,490	△ 4,385,563	△ 4,383,197	△ 4,316,430	△ 4,232,644
次期繰越損益金(G+H)	△2,871,090,491	△2,797,608,242	△2,744,778,682	△2,776,793,071	△2,694,484,662	△2,547,821,143
追加信託差損益金	△2,056,153,707	△2,001,810,613	△1,990,734,545	△1,991,885,782	△1,963,174,691	△1,926,666,360
(配当等相当額)	(404,194,910)	(393,503,656)	(391,315,094)	(391,547,406)	(385,907,598)	(378,762,048)
(売買損益相当額)	(△2,460,348,617)	(△2,395,314,269)	(△2,382,049,639)	(△2,383,433,188)	(△2,349,082,289)	(△2,305,428,408)
分配準備積立金	153,802,028	150,676,057	151,219,783	151,375,612	151,382,181	150,846,366
繰越損益金	△ 968,738,812	△ 946,473,686	△ 905,274,920	△ 936,282,901	△ 882,692,152	△ 772,001,149

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首（前作成期末）元本額 4,614,427,851円
 作成期中追加設定元本額 59,394,381円
 作成期中一部解約元本額 441,177,874円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.3981円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,547,821,143円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2024年4月16日～ 2024年5月13日	2024年5月14日～ 2024年6月13日	2024年6月14日～ 2024年7月16日	2024年7月17日～ 2024年8月13日	2024年8月14日～ 2024年9月13日	2024年9月14日～ 2024年10月15日
費用控除後の配当等収益額	6,638,538円	5,687,602円	6,288,052円	5,053,450円	6,932,705円	6,962,702円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	404,194,910円	393,503,656円	391,315,094円	391,547,406円	385,907,598円	378,762,048円
分配準備積立金額	151,700,795円	149,402,945円	149,317,294円	150,705,359円	148,765,906円	148,116,308円
当ファンドの分配対象収益額	562,534,243円	548,594,203円	546,920,440円	547,306,215円	541,606,209円	533,841,058円
1万口当たり収益分配対象額	1,239円	1,242円	1,247円	1,248円	1,254円	1,261円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	4,537,305円	4,414,490円	4,385,563円	4,383,197円	4,316,430円	4,232,644円

○分配金のお知らせ

	第130期	第131期	第132期	第133期	第134期	第135期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジありが投資対象とする米ドル建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	U S エネルギー M L P ファンド
運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・主にエネルギーや天然資源に関連するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等*を主要投資対象とします。 *MLP等には、MLPの出資持分のほか、MLPと実質的に同様の経済的な特徴を有するLLC（リミテッド・ライアビリティ・カンパニー）の出資持分、MLPに投資することにより主たる収益を得る企業の株式、およびMLPに関連するその他の証券を含みます。 ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行います。 ※エネルギーや天然資源関連以外のMLP等にも投資を行う場合があります。 ・MLP等の組入比率は、原則として高位を維持します。 ・個別証券の投資割合は、純資産総額の10%以内とします。
投資顧問会社	ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー* (Neuberger Berman Investment Advisers LLC)
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2013年6月28日
会 計 年 度 末	毎年12月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

*ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー（所在地：米国）は、ニューバーガー・バーマン・グループの一員であり、同グループの運用会社としての機能を有します。ニューバーガー・バーマン・グループは、1939年創業の独立系運用会社であり、米国、英国、香港等に運用拠点を置き、株式、債券、オルタナティブ資産運用等を世界の機関投資家や富裕層向けに提供しています。（2024年4月末現在）

USエネルギーMLPファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

2023年12月29日に終了する期間

(千米ドルで表示)

収益

受取配当金	4,037
受取利息	85
収益合計	4,122

費用

運用受託報酬	(957)
専門家報酬	(417)
管理者報酬	(144)
保管費用	(22)
名義書換事務代行手数料	(12)
受託者報酬	(10)
費用合計	(1,562)

投資純利益（損失）**2,560****実現および未実現損益**

投資売却に係る実現純利益（損失）	10,672
未実現評価益（評価損）の純変動：	
- 投資	(11,937)
投資純利益（損失）	(1,265)

法人税

(60)

運用による純資産の純増減**1,235**

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

2023年12月29日に終了する期間

(千米ドルで表示)

期首純資産	134,910
投資純利益（損失）（税額控除後）	2,500
実現および未実現損益	
投資売却に係る実現純利益（損失）	10,672
未実現評価益（評価損）の純変動：	
- 投資	(11,937)
投資純利益（損失）	(1,265)
追加設定	3,610
一部解約	(34,853)
再投資	6,451
支払分配金	(6,451)
	(31,243)
期末純資産	104,902

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

3. 投資明細表

証券取引所に上場されるか別の規制市場で取引される譲渡可能な証券

(2023年12月29日現在)

(千米ドルで表示)

有価証券

銘柄	通貨	額面/数量	原価	時価	純資産比率
CANADA					
BROOKFIELD RENEWABLE CORPORATION	USD	50,000	1,851	1,440	1.37%
ENBRIDGE INC.	USD	75,000	2,911	2,702	2.58%
PEMBINA PIPELINE CORPORATION	USD	100,000	3,263	3,442	3.28%
TC ENERGY CORPORATION	USD	36,000	1,888	1,407	1.34%
			9,913	8,991	8.57%
UNITED KINGDOM					
ATLANTICA SUSTAINABLE INFRASTRUCTURE PLC	USD	25,000	958	538	0.52%
			958	538	0.52%
UNITED STATES					
ANTERO MIDSTREAM CORPORATION	USD	620,000	5,737	7,769	7.41%
CENTERPOINT ENERGY, INC.	USD	272,000	7,958	7,771	7.41%
CHENIERE ENERGY, INC.	USD	44,000	4,238	7,511	7.16%
CLEARWAY ENERGY, INC.	USD	284,000	9,692	7,790	7.43%
DOMINION ENERGY, INC.	USD	36,000	2,541	1,692	1.61%
DT MIDSTREAM, INC.	USD	50,000	2,528	2,740	2.61%
HESS MIDSTREAM LP - CLASS A	USD	128,000	3,216	4,049	3.86%
KINDER MORGAN, INC.	USD	110,000	1,795	1,940	1.85%
NEXTERA ENERGY PARTNERS, LP	USD	188,000	11,590	5,717	5.45%
ONEOK, INC.	USD	54,000	2,340	3,792	3.61%
PHILLIPS 66	USD	12,000	827	1,598	1.52%
PLAINS GP HOLDINGS, L.P.	USD	344,000	3,044	5,487	5.23%
SEMPRA	USD	106,000	7,113	7,920	7.55%
TARGA RESOURCES CORP.	USD	92,000	3,860	7,992	7.62%
WILLIAMS COS INC.	USD	225,000	5,171	7,837	7.47%
KINETIK HOLDINGS INC.	USD	225,000	7,394	7,515	7.16%
NEW FORTRESS ENERGY INC.	USD	132,000	3,770	4,980	4.75%
			82,814	94,100	89.70%
TOTAL INVESTMENT IN SECURITIES			93,685	103,629	98.79%
CASH AT BANKS				1,038	0.99%
OTHER NET ASSETS				235	0.22%
TOTAL NET ASSETS				104,902	100.00%

マネー・プール マザーファンド

《第30期》決算日2024年7月16日

[計算期間：2024年1月16日～2024年7月16日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月16日に第30期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第30期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	券率	債先物比率	純総資産額
26期(2022年7月14日)	10,039	△0.0	—	—	—	48
27期(2023年1月16日)	10,036	△0.0	—	—	—	47
28期(2023年7月14日)	10,035	△0.0	—	—	—	141
29期(2024年1月15日)	10,034	△0.0	—	—	—	52
30期(2024年7月16日)	10,038	0.0	73.4	—	—	27

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	券率	債先物比率	券率
(期首) 2024年1月15日	10,034	—	—	—	—	—
1月末	10,034	0.0	—	—	—	—
2月末	10,034	0.0	—	—	—	—
3月末	10,034	0.0	—	—	—	—
4月末	10,037	0.0	—	76.2	—	—
5月末	10,037	0.0	—	80.3	—	—
6月末	10,038	0.0	—	73.4	—	—
(期末) 2024年7月16日	10,038	0.0	73.4	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

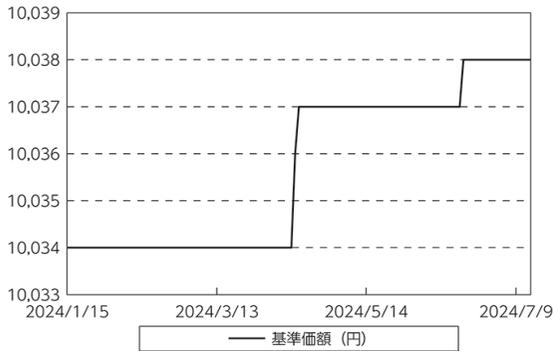
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.04%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移していたものの、2024年3月に日銀がマイナス金利政策を解除したことにより、期間末には0%を上回りました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は低位安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2024年1月16日～2024年7月16日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2024年1月16日～2024年7月16日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 1,259,772	千円 1,239,774

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 1,099,978	千円 1,099,980

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2024年1月16日～2024年7月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年7月16日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 20,000 (20,000)	千円 19,999 (19,999)	% 73.4 (73.4)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 73.4 (73.4)
合 計	20,000 (20,000)	19,999 (19,999)	73.4 (73.4)	— (—)	— (—)	— (—)	73.4 (73.4)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1227回国庫短期証券※	—	20,000	19,999	—
合 計		20,000	19,999	

(注) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2024年7月16日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 19,999	% 73.4	千円 19,999	% 73.4
コール・ローン等、その他	7,251	26.6	7,251	26.6
投資信託財産総額	27,250	100.0	27,250	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月16日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	27,250,592
コール・ローン等	7,250,780
公社債(評価額)	19,999,800
未収利息	12
(B) 負債	7
未払解約金	7
(C) 純資産総額(A-B)	27,250,585
元本	27,147,403
次期繰越損益金	103,182
(D) 受益権総口数	27,147,403口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,038円

<注記事項>

- ①期首元本額 52,747,529円
 期中追加設定元本額 202,090,171円
 期中一部解約元本額 227,690,297円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0038円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	22,405,492円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	220,146円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	125,062円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	99,661円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月決算型)	19,961円
合計	27,147,403円

○損益の状況 (2024年1月16日～2024年7月16日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	9,259
受取利息	10,003
支払利息	△ 744
(B) 当期損益金(A)	9,259
(C) 前期繰越損益金	180,435
(D) 追加信託差損益金	691,263
(E) 解約差損益金	△777,775
(F) 計(B+C+D+E)	103,182
次期繰越損益金(F)	103,182

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。